

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52501	保育・教職実践演習(幼) Childcare and educational practice	岡田・児玉・服部	専門	2	必修	2 年後期
科目の概要						
保育者としてさらに実践力を高めるため、本科目においては、保育実践力、学級経営力、地域における保育コーディネート力を中心とした授業内容とする。幼児教育及び保育の現場で活躍できるための専門的知識や技能を、協調性をもって柔軟に活用できるように学ぶ。演習を中心として、模擬保育やグループ討議、ロールプレイング等における主体的な活動を通して、保育者としての使命感や責任感を養う。 ★保育士としての実務経験があり園内研修、県内外で公開保育等の経験を活して保育、教育を進める上での実践的な演習を行う。						
学修内容			到達目標			
① これまでの学修を振り返り、保育者としての自分をみつめ、課題を考える。 ② これまでの実習を振り返り、さらに高い保育実践力を身に付ける。 ③ 子ども理解や学級経営について理解を深め、実践力を身に付ける。 ④ 保育機関と地域の様々な機関との連携について理解し、保育コーディネート力を身に付ける。			① これまでの学修を振り返り、保育者としての自分をみつめ、課題を考えることができる。 ② これまでの実習を振り返り、さらに高い保育実践力を身に付けることができる。 ③ 子ども理解や学級経営について理解を深め、実践力を身に付けることができる。 ④ 保育機関と地域の様々な機関との連携について理解し、保育コーディネート力を身に付けることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	課題意識を持ち、グループワーク等、自主的に参加することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	グループワークや発表において、課題を期限に提出することができる。				
考え抜く力	課題発見力	毎回の授業において自分の課題を発見し、課題解決に向けて努力することができる。				
	計画力					
	創造力	模擬保育において適切な素材のよる教材制作をすることができる。				
チームで働く力	発信力	実践演習の保育者や園児を意識し、適切な援助や声掛け動きができ、また、自分の意見をまとめ他者にわかりやすく発信する。				
	傾聴力	他者の言葉に集中し、自分と異なる意見を謙虚に受け止める姿勢を持つことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	集団での授業における自分の言動に責任を持ち、規律を尊重することができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:教員作成プリント等 参考文献:保育・教育に関する実践事例集 「幼稚園教育要領解説」文部科学省・「保育所保育指針解説書」厚生労働省・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」内閣府、文部科学省、厚生労働省						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:すべての教科 資格との関連:幼稚園教諭 2 種免許、保育士資格						
学修上の助言			受講生とのルール			
現場に立つ保育者として必要な実践力をできるだけ身に付けていく授業である。保育者、先生としての意識を持って授業に参加すること。			・保育者としてふさわしい受講態度を毎回守ること。 ・授業の雰囲気を作るのは、全員の参加態度であることを意識して授業に臨むようにすること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	40	①	✓	授業で提示された課題レポート 授業振り返りシート 外部講師授業での学びのレポート 各10点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓	プレゼンテーションやロールプレイングにおける発表内容等 模擬保育に対する取り組み
		②	✓	
		③	✓	
		④		
作品	10	①		保育実践に向けての準備や指導計画作成
		②	✓	
		③	✓	
		④		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 課題意識を持ち、授業活動に自主的に参加することができる。 (実行力) 発表等に向けて、課題を期限に提出することができる。 (課題発見力) 毎回の授業において自分の課題を発見し、課題解決に向けて努力することができる。 (創造性) 模擬保育において適切な素材による教材制作をすることができる。 (発信力) ディスカッション等で積極的に意見を発信することができる。模擬保育等では、保育者や園児を意識し、適切な援助や声掛け動きができる。 (傾聴力) 他者の言葉に集中し、自分と異なる意見を謙虚に受け止める姿勢を持つことができる。 (規律性) 集団での授業における自分の言動に責任を持ち、規律を尊重することができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
その他				
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
レポート35点以上 成果発表35点 社会人基礎力10点 作品10点をS(秀)の基準とする。 レポート32点以上 成果発表32点 社会人基礎力8点 作品8点をA(優)の基準とする。	レポート30点以上 成果発表30点 社会人基礎力5点 作品5点をB(良)の基準とする。 レポート25点以上 成果発表25点 社会人基礎力5点以上 作品5点以上をC(可)の基準とする。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション 実践的な指導力や手法習得するための実践演習を理解する。	講義(全体)	授業の内容を理解し課題意識を持つ。	(予習)授業内容の把握 (復習)次の授業について予習をしておく。 指導計画作成等	180	傾聴力 主体性
2週 /	保育・教育実践に向けて期待される保育者として大切なことを教育現場で実践体験者の指導を受け、実践演習体験をする。 集団遊び	演習(G1・G2) 質疑応答	本日の学びをレポートにまとめ提出	(復習)授業内容の復習を行いまとめておく。	90 90	課題発見力 主体性 実行力
3週 /	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出できる。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備をする。 演習対象年齢の発達を理解しておく。	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
4週 /	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出できる。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備をする。 演習対象年齢の発達を理解しておく。	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
5週 /	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出できる。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備 演習対象年齢の発達を理解しておく。	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
6週 /	実践者:保育内容について立案・計画・模擬保育を実践し、指導力をつける。 園児役:対象年齢の発達を理解したうえで参加する。 観察者:実践を考察、検討する。	グループ演習 実践について討議し フィードバックをする。 レポート提出	決められた期限までに指導計画の提出できる。 それぞれの役割に主体的に取り組む態度が見られる。 振り返りレポートの提出	(予習・復習)保育内容を考え指導案を立案する。 教材準備 演習対象年齢の発達を理解しておく。	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力
7週 /	保護者との協働 事例に基づき、保護者からの相談や要望への対応について、グループ発表及びディスカッションを通して検討する。	グループ発表及びディスカッション	さまざまな不安を抱える保護者の心情を理解し、相談や要望への適切な対応について、意見を述べることができる。	(予習)これまでの実習で観察した保護者への対応を振り返る。 (復習)ディスカッションの内容および理解した内容を小レポートにまとめ提出する。	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力 創造性
8週 /	関係機関との協働(1) 事例に基づき、被虐待児童などの要保護児童への対応について、グループ発表及びディスカッションを通して検討する。	グループ発表及びディスカッション	要保護児童とその家庭の背景を知り、関係機関との適切な連携のあり方について、意見を述べるができる。	(予習)これまでに学修した被虐待児童への対応を振り返る。 (復習)ディスカッションの内容および理解した内容を小レポートにまとめ提出する。	90 90	実行力 課題発見力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
9週 /	関係機関との協働(2) 事例に基づき、発達障害などの 特別支援を必要とする子どもへ の対応について、グループ発表 及びディスカッションを通して検 討する。	グループ発表及びデ ィスカッション	特別支援を必要とする子 どもへの対応事例を知り、 そうした子どもへの支援や 配慮について、意見を述 べることができる。	(予習)これまでに学 修した特別支援を必要 とする子どもへの対 応を振り返る。 (復習)ディスカッショ ンの内容および理解 した内容を小レポート にまとめ提出する。	90 90	実行力 課題発 見力 状況把 握力
10 週 /	園の安全管理 事例に基づき、園での安全 管理の体制について、グルー プ発表及びディスカッショ ンを通して検討する。	グループ発表及びデ ィスカッション	園で起こりやすい事故の 事例を知り、事故予防およ び事後対応について、意 見を述べるができる。	(予習)これまでの実 習で経験した園での 安全管理の体制を振 り返る。 (復習)ディスカッショ ンの内容および理解 した内容を小レポート にまとめ提出する。	90 90	実行力 課題発 見力 状況把 握力
11週 /	対象クラスを設定し、園の年間 計画を参考にクラステーマを考 え、1 年の最後のお楽しみ発表 会に向けて、2 名チームで計画 案を作成し、全員が内容を発表 する。	グループ発表及びデ ィスカッション	園の基本的な年間計画を 参考に、発表会に向けて の計画を立案することが できる。	(予習)学級の年間計 画を立て、お楽しみ 会に向けてのテーマ と作品及び表現方法 を決める。	90 90	実行力 課題発 見力 状況把 握力
12 週 /	子どもへの説明場面について、 模擬保育を実践する。説明がわ からない子どもや、保護者への 説明についてロールプレイング を通して、対応を考える。 2 人×3 組	模擬保育 ロールプレイング 全体ディスカッション	対象年齢に合った言葉で 発表会の説明をすることが できる。模擬保育について 自分なりの意見を持つこと ができる。	(予習)発表チーム は、説明ができるよう に説明文を作成する。 (復習)ディスカッショ ン内容を含め、授業 振り返りシートに記入 し提出する。	90 90	実行力 課題発 見力 状況把 握力
13 週 /	配役を決める場面の模擬保育を 実践する。配役について不満の ある子どもやケンカになってしま った場合の言葉かけや対応方 法について、ロールプレイングを 通して考える。2 人×3 組	模擬保育 ロールプレイング 全体ディスカッション	活動に不満を持つ子ども への言葉かけや対応につ いて、自分なりに考え実践 することができる。子ども役 は子どもの気持ちを想像 し、意見を述べることが できる。	(予習)発表チームは 場面を想定し、指導 案を作成する。 (復習)ディスカッショ ン内容を含め、授業 振り返りシートに記入 し提出する。	90 90	実行力 課題発 見力 状況把 握力
14 週 /	クラスで取り組む発表会の練習 に参加しようしない子どもと、ク ラス全体との関係について、ロー ルプレイングを通して考える。 2 人×3 組	ロールプレイング 全体ディスカッション	個の集団の在り方につい て、問題解決方法を自分 なりに考えることができる。 子どもの気持ちを想像し、 意見を述べることができ る。	(予習)発表チームは 設定された場面での 言葉かけや対応につ いて考え、指導案を 作成する。 (復習)ディスカッショ ン内容を含め、授業 の振り返りシートに記 入し提出する。	90 90	実行力 課題発 見力 状況把 握力
15 週 /	幼小連携講演 授業振り返り	講義 穴埋めプリントで幼保 小に関連した専門用 語や意味を学ぶ。 全体ディスカッション	幼保小の連携で現在考え られていることは何かを学 ぶことにより、就学前の子 供たちの育ちに必要なこと は何かを学ぶ。	(予習)幼児教育から 小学校へ進学すると きの子どもの期待感 不安感について考え ておく。	90 90	状況把 握力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力